

事業計画書

事業名	「手と手で話そう Part 2」
団体名	NPO法人 子どもっとまつど

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

- ・昨年度の事業を通して、ろうあ者のもつ豊かなコミュニケーション能力に感銘をおぼえた。
- ・また、障がい者への理解が乏しく暮らしにくい現実（困ったこと）がまだまだ沢山あることも学んだ。
- ・しかしながら、相互の能力や違いを認めあい、共に生きる仕組みがまだまだ不十分であることも実感した。
- ・自ら体験のないことに共感できる感性を育むとともに、より多くの人たちにこの現実を知ってもらうための取り組みをしたい。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

今回の企画で、感性が豊かな子ども時代に多様な人との出会いや、違いを認め合う体験の機会を多くつくることで、人権が尊重され豊かな地域社会が生まれる一助となると考える。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

- ① 障がい者を講師にワークショップ（交流会、学習会）を行う。
- ② 受講者が体験をもとに相互に学び合い、表現活動（演劇、人形劇など）のカタチにする。
- ③ イベント会場や施設での発表会を行う。

・想定スケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	ワークショップ① ワークショップ②	実施体制：障がい者団体と子どもっとまつどとの協働で 対象：主に小学生の親子 場所：市内市民センターなど
7月～9月	表現活動③ 表現活動④ 表現活動⑤ 表現活動⑥	実施体制：障がい者団体、演劇指導者と子どもっとまつどとの協働で 対象：主に小学生の親子 場所：市内市民センターなど
10月～12月	発表会 2～3回	実施体制：市民団体 対象：企画参加者 場所：市内市民センター他
1月～3月	ふりかえりの会	

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

- ・まずは、ワークショップへの参加者を昨年同様の人数を集め、表現活動へ引き続き参加する子どもたちの数を増やしたい。
- ・発表会の回数を2回以上行う。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・表現活動の参加者を随時つのりながら、幅広い世代に伝えていく活動を継続して行っていきたい。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) 参加費	金額	積算内訳
			22,500 円
	自己資金合計 (a)	22,500 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
収入合計 (c) (a+b)		122,500 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内 /
2. 1 事業あたり 10 万円以内 /

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
		講師謝金	84,000 円
	広報費	10,000 円	チラシ印刷@2 円×2000 枚 4000 用紙@2 円×2000 枚 4000 ポスター@80×25 枚 2000
	資材費	20,000 円	発表用材料費、衣装代
	会場費	6,000 円	@1000 円×6 回
	対象となる経費合計額 (d)	120,000 円	
その他	スタッフ交通費	2,500 円	
		円	
	その他経費合計額 (e)	0 円	
事業費 (f) (d+e)		122,500 円	